【書式例 5-3】

令和４年度　指定管理者点検結果

施　設　名	都市公園及び深山センターハウス
所　在　地	市内一円
指 定 管 理 者	名　称　　公益財団法人　玉野市公園緑化協会 代表者　　理事長　市倉　勇樹 住　所　　玉野市田井２丁目４４９０番地
指 定 期 間	令和３年４月１日　～　令和６年３月３１日（　３年間）
担 当 部 課	建設部　都市計画課 電　話　　0863-32-5538 E-mail　　toshikeikaku@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	**総 合 評 価**
・都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務の点検を行った。 ・指定管理者制度の目的である利用者へのサービス向上を図る一方で、経費の節減にも努めていた。 ・利用者が安心して親しみをもって利用できる公園の管理運営を行うため、職員の専門性等、資質の向上が図られていた。 ・深山公園をはじめ、市内１４７箇所の公園緑地に対する市民ニーズに的確に対応するため、地元コミュニティを含めた連携が図られていることを確認した。また、深山公園においては、道の駅みやま公園などの関係機関とも良好な連携が図られていることを確認した。 ・深山センターハウスの管理においては、常に、利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めていた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公園利用者の安全を考慮しつつ、一部イベント（深山さくらまつり等）の開催を見合わせた一方、ローズフェアなどのイベントを開催した。また、新たにインスタグラムを立ち上げ、公園の魅力発信に努めていることを確認した。	A

■「総合評価」の評価基準

Ｓ（優　良）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上であり、かつＳが２つ以上である。

Ａ（良　好）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上である。

Ｂ（課題含）　次の３項目の評価結果にＢが含まれている。

C（要改善）　次の３項目の評価結果にＣが含まれている。

①　業務の実施状況	評価結果
【適切な施設管理の履行】 ・市内の公園施設は、幅広い年代の不特定多数が利用することから常に誰もが安心して利用できるよう徹底した施設の維持管理が行われていた。 ・地元コミュニティ等と連携し公園の安全性の確保に努めていた。 **【法令等の遵守】** ・施設の管理運営、職員の労務管理等、関係法令に基づき業務全般を実施していた。 **【安全性の確保】** ・公園施設の定期的な点検・監視により整備不良箇所の早期発見と修繕に努めていた。 **【財産の適切な管理】** ・所有する施設、備品について、台帳等により適正な管理を行っていた。 ・基本財産（資本金）については、確実かつ有利な方法で保管されていた。 **【利用状況】** ・深山公園の入園者については、深山まつりなどのイベントを一部見合わせたが、ローズフェアなどのイベントを開催や、インスタグラムによる公園の魅力発信により、前年を上回る来園者となった。 ・深山公園内の有料施設であるイギリス庭園、パターゴルフ、ドッグラン、研修室等については、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことから、前年度より大きく増加した。 **【コスト削減への方策】** ・施設管理に当たっては、技術経験者の活用を図り、直営作業と業者委託、さらにボランティアの活用などにより、効率的な業務の推進と経費の節減に努めている。	A
②　サービス向上への取り組み	**評価結果**
・利用者に対して公園の魅力を最大限に PR するとともに、公園の美化や安全確保を図り、憩いと安らぎを求める利用者が安全・安心して利用できるよう、質の高いサービス提供に努めていた。	A
③　団体の経営状態（経営の健全性）	**評価結果**
・令和 4 年度決算では、有料施設の収入増や電気料高騰にかかる市からの補てん措置などにより収入が増加したが、「収支相償の取り組み」により累積余剰額の解消に努めており、良好な経営状態となっていることを確認した。	A

■「評価結果」の評価基準

S（優　良）　協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。

A（良　好）　協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。

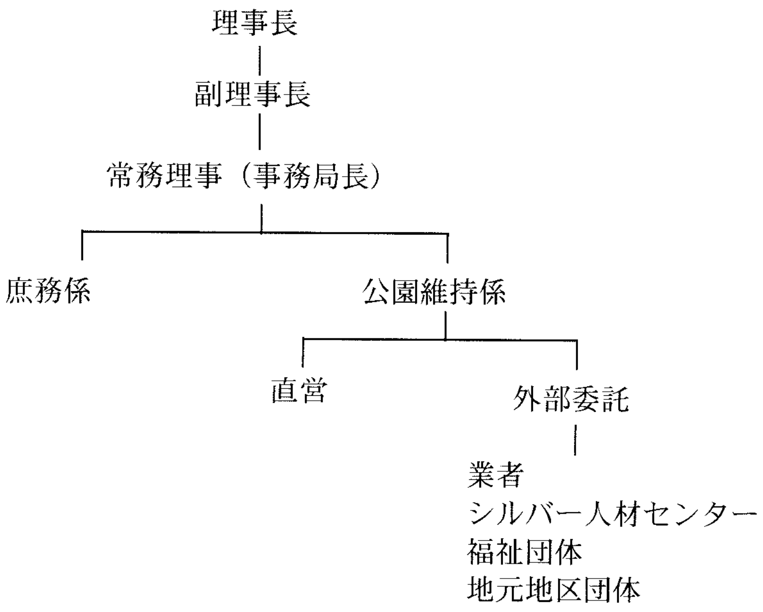
B（課題含）　協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C（要改善）　協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

Ⅰ　業務の実施状況に関する事項

1　管理体制の状況

（１）指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



（２）人員配置状況

（令和５年３月３１日現在）

職　　名		人　数	備　　考
事務局	事務局長	１名	常務理事兼務
	事務局次長	１名	庶務係長兼公園維持係長
	技術職員	２名	公園維持係
	嘱託職員（事務員）	２名	庶務係
施設管理	臨時職員（作業員）	１０名	公園維持
	時間雇用（事務員）	２名	イギリス庭園受付
	時間雇用（事務員）	４名	ミニパター・ドッグラン受付
計		２２名	

2　施設・設備の維持管理業務の実施状況

①　みやま公園及び市内公園緑地の維持管理業務

民間業者、シルバー等に年間の維持管理を委託するとともに、遊具等の保守点検を定期的に実施した。また、懸案であったＪＰＦＡ基準に基づく公園遊具（遊戯施設）の定期点検につき、外部委託方式により、年度内に全ての遊具の定期点検を完了しました。

②　清掃業務

民間業者に委託し、日常清掃として便所及びロビーを年５４回、定期清掃として事務所・

研修室等のガラス清掃及び床面のワックス塗布等を年２～３回実施した。

③ 警備業務

民間業者に夜間警備を委託し、施設・設備の保安管理を実施した。

④ 自家用電気工作物保安管理業務

中国電気保安協会に保安管理を委託し、自家用電気工作物の保守点検を年６回実施した。

⑤ 自動扉保守管理

民間業者に保守管理を委託し、自動扉の保守点検を年３回実施した。

Ⅱ 施設の利用状況に関する事項

１ 施設・設備の利用状況

施設名	利用者数（人）
みやま公園	１，７３９，４５４
深山イギリス庭園	１６，９００
ミニパターゴルフ場	８，５３０
研修室	１，７４４
会議室	２９

Ⅲ 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

１ イベント名、内容、参加者数、収支状況等

イベント名	参加者数（人）	開催日
深山さくらまつり	７０，５００	令和４年４月１日～４月１０日
園芸教室 ハンギング	３６	令和４年４月１６日
園芸教室 クリスマスリース作り	２０	令和４年１２月１０日
薬草教室	１００	令和４年４月２９日
Book and English Garden Vol.2	６１２	令和４年１１月５日
深山イギリス庭園 ののちゃんクイズラリー	２７６	令和４年７月１６日～８月３０日
イギリスフェア	０	中止
岡山県立興陽高等学校制作展	２０２	令和４年１０月８日
山陽新聞カルチャープラザ「基礎から学ぶバラ講座」	７期生 １４１	令和３年１２月～令和５年２月（全６回）終了
山陽新聞カルチャープラザ「基礎から学ぶバラ講座」	おさらい ９９	令和４年 ５月～令和５年２月（全４回）終了
山陽新聞カルチャープラザ「基礎から学ぶバラ講座」	８期生 ６０	令和４年１２月～令和６年２月（全６回）開催中（６月末現在）
ボトルアレンジメントフラワー講座（年１１回）	３３	令和４年４月～令和５年３月
押し花講座（年１１回）	８８	令和４年４月～令和５年３月
春のローズフェア	５３２	令和４年５月２２日
秋のローズフェア	１６７	令和４年１０月１６日

Ⅳ　料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1　利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額等

施　設　名	収　入　額（円）
深山イギリス庭園	２，４１８，９８０
ミニパターゴルフ場	３，０２８，３００
研　修　室	１９９，５００
合　計	５，６４６，７８０

（2）減免の総額、各施設、設備ごとの内訳、減免理由等

施　設　名	減免総額（円）	減免理由等
深山イギリス庭園	４，２３０	岡山市立第一藤田小学校
ミニパターゴルフ場	２２，４００	はちはま子ども楽級
研　修　室	１０，０００	薬草教室、玉野光南高校玉野市活性化班
減免総額合計	３６，６３０	

2　管理に係る収支の状況

（1）収入

項　目	金　額（円）	備　考
利用料収入	４，６８５，１００	ドッグラン、レンタサイクル
指定管理料収入	１０９，３７９，０００	公園管理事業収入
その他収入	２，０１７，６００	自動販売機等
収入合計	１１６，０８１，７００	

（2）支出

項　目	金　額（円）	備　考
人件費	５３，６４７，４０３	給料、賃金等
光熱水費	１２，３９３，２３６	電気、水道等
委託費	４２，３０７，２３５	公園・便所管理等
事務費	２，９１０，４８４	消耗品、消耗什器備品費、通信運搬費等
原材料費	１，０９７，２３５	花苗・真砂土等
修繕費	１，９３１，８７４	公園施設修繕等
保険料	７１５，９８２	指定管理者賠償責任保険料等
租税公課	４，８０５，６７０	消費税、自動車税等
その他	２，１２７，８８８	賃借料、手数料等
支出合計	１２１，９３７，００７	

支出合計	１２１，９３７，００７

（２）支出

Ｖ　自己点検結果

都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務を行った。

みやま公園をはじめ、市内147箇所の公園緑地の管理にあっては、常に公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに質の高いサービスの提供を目指し各公園・緑地を巡回するなど、来園者が心地よく安心して利用できるよう維持管理を徹底した。また、深山センターハウスの管理においても、常に利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めた。年間を通じて市民ニーズへの的確な対応とみやま公園の魅力向上に向け、市はもとより、地元コミュニティ、道の駅みやま、市内事業者、マスコミ各社等々関係機関との連携を図りながら業務遂行に努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたイベントの一部（深山さくらまつり、イギリスフェア等）の開催を見合わせる一方、コロナ禍の下での「新しい生活様式」が定着する中、公園利用者個々のニーズに対応する狙いから、道の駅みやま公園パン工房とタイアップし、春と秋にはローズフェアを開催し、また新たに公式インスタグラムを開設し、みやま公園の四季を写真や動画とコメントで紹介するなど、公園の魅力の発信に努めた結果、令和４年度は前年を上回る約174万人の来園者があった。

総括としてこれら実績も踏まえ、令和４年度の指定管理業務については概ね十分な成果をあげることができたものと考えており、引き続き今後も事案毎の速やかな対応に努めるとともに公園利用者のニーズの把握を進め快適で安全安心な公園・緑地の維持管理を図るものとする。

Ⅵ　経費節減・サービス向上に関する取組み

公園・緑地の管理手法では、事案に応じて直営作業と業者委託、ボランティアと地元自治会等、業務の効率的な振り分けを行い管理経費の削減に努める一方、協会が運営する便益事業としてレンタサイクル事業やドッグラン事業、自動販売機設置事業等を行い、年間で６００万円を上回る自主財源を確保し全額を運営経費に充当した。

また、市内公園緑地の美化、安全確保に努めることはもとより、年間を通じて職員一丸となってサービスの向上に取り組み、憩いと安らぎを求める市民が安全安心かつ気軽に公園を利用できるよう快適で質の高いサービスの提供に努めた。

令和４年度　指定管理者自己点検結果

点　検　日	令和５年　　６月　　１日　（１回目）
施　設　名	都市公園及び深山センターハウス
所　在　地	市内一円
指定管理者	名　称　　公益財団法人玉野市公園緑化協会 代表者　　理事長　市倉　勇樹 住　所　　玉野市田井２丁目４４９０番地
指定期間	令和３年　４月　１日　～　令和６年　３月３１日（３年間）
担　　当	公益財団法人玉野市公園緑化協会 電　話　　０８６３－２１－２８６０ E-mail　ｍｉｙａｍａ＠ｔａｍａｎｏ．ｏｒ．ｊｐ

評価内容の総括	総合評価
みやま公園をはじめ、市内１４７箇所の公園緑地の管理では、常に公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに質の高いサービスの提供を目指し各公園・緑地を巡回するなど、来園者が心地よく安心して利用できるよう維持管理を徹底した。また、深山センターハウスの管理においても、常に利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めた。年間を通じて市民ニーズへの的確な対応とみやま公園の魅力向上に向け、市はもとより、地元コミュニティ、道の駅みやま、市内事業者、マスコミ各社等々関係機関との連携を図りながら業務遂行に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたイベントの一部（深山さくらまつり、イギリスフェア等）の開催を見合わせた一方、コロナ禍の下での「新しい生活様式」が定着する中、公園利用者個々のニーズに対応する狙いから、道の駅みやま公園パン工房とタイアップし、春と秋にはローズフェアを開催し、また新たに公式インスタグラムを開設し、みやま公園の四季を写真や動画とコメントで紹介するなど、公園の魅力の発信に努めた結果、令和４年度は前年を上回る約 174 万人の来園者があった。 総括としてこれら実績も踏まえ、令和４年度の指定管理業務については概ね十分な成果をあげることができたもの考えており、引き続き今後も事案毎に速やかな対応と公園利用者のニーズの把握を行い、快適で安心安全な公園緑地の維持管理に努めるものとする。	A

■「総合評価」の評価基準

Ｓ（優　良）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上であり、かつＳが２つ以上である。
Ａ（良　好）　次の３項目の評価結果が全てＡ以上である。
Ｂ（課題含）　次の３項目の評価結果にＢが含まれている。
Ｃ（要改善）　次の３項目の評価結果にＣが含まれている。

①　業務の実施状況	評価結果
【適切な施設管理の履行】 緑化推進事業では、緑化募金事業を実施し、公共施設、その他民有地等での花木の植栽を奨励し緑化事業の拡充と緑豊かで住みよいまちの実現に努めた。また、教育機関に対する緑化サポート事業では、公園管理のノウハウを生かし学校等からの緑化推進に関する相談に対して助言を行った。さらに、気軽に花や木に関する幅広い知識や技術を学ぶ場を提供するため、ハンギングバスケット作りなどの総合カレッジ事業を実施した。また、みやま公園の魅力や緑化思想の普及啓発を図るため、PR 事業を実施した。 公園緑地管理事業では、基本協定書・仕様書に基づくみやま公園及び市内１４７箇所の公園緑地の管理に当たり、来園者が安心して利用できるよう維持管理を徹底し、年間を通じて公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに、質の高いサービスの提供を目指し、職員による巡回や委託先の業者や地区コミュニティ等関係先と連携を図りながら利用者のニーズの把握に努め、公園緑地の利便性の向上に努めた。 深山センターハウスの管理では、清掃及び施設・設備の保守点検を徹底し、利用者が年間を通じて安全快適に利用できるよう努めた。 【法令等の遵守】 運営・労務・個人情報保護等に関する関係法令はもとより、事業の関連法令である都市公園法や玉野市都市公園条例等を遵守し業務を遂行した。 【安全性の確保】 来園者の安全安心を図るため、遊具、歩道等を定期的に点検・巡視を行い、不良箇所にあっては速やかに修理を実施した。特に、懸案であったＪＰＦＡ基準に基づく公園遊具（遊戯施設）の定期点検では、外部委託方式により全ての遊具の定期点検を年度内に完了した。 【財産の適切な管理】 公園施設及び深山センターハウス等施設の維持管理及び備品の管理にあっては、施設利用者の利便を最優先し、職員や清掃管理等の委託先による巡回も含め危険個所や器具の不具合等の迅速な把握と改修を行い、事故防止に努めるなど適切に管理を行った。	A

【利用状況】 みやま公園の年間入園者数は、新型コロナウイルス感染症の対策期間中であったものの市民及び県内近郊や県外からの入園者も含め前年を上回る約１７４万人となり、期待を上回る利用が図られたものと思われる。 【コスト削減への方策】 公園・緑地の管理手法では、事案に応じて直営作業と業者委託、ボランティアと地元自治会など、業務の効率的な振り分けを行い管理経費の削減に努める一方、協会直営の便益事業としてレンタサイクル事業やドッグラン事業、自動販売機設置事業等を行い、年間で６００万円を上回る自主財源を確保し全額を運営経費に充当した。	
②　サービス向上への取り組み	評価結果
市内公園緑地の美化、安全確保に努めることはもとより、年間を通じて職員一丸となってサービスの向上に取り組み、憩いと安らぎを求める市民が安全安心かつ気軽に公園を利用できるよう快適で質の高いサービスの提供に努めた。	A
③団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
令和４年度決算では、収入で、電気料高騰にかかる市からの業務委託料の補てん措置や追加業務契約による霊園管理事業収入、またレンタサイクル事業収入及びドッグラン事業収入等々の増もあり、予算額を上回る収入となる一方支出で、公益財団法人の基本理念に基づく県の指導に従い平成２４年度の新公益財団法人移行から令和３年度末までの間の累積余剰額の解消を図るため、「収支相償の取り組み」として市に負担を求めず協会の一般正味財産残高のうちから合計約６００万円を財源に、実施内容にかかる市との協議も踏まえ計画的に公園管理において優先度の高い遊具の定期点検、伐採木のチップ化、園内遊歩道の再整備の各事業を実施し、計画に則った結果として４００万円余りの単年度赤字を計上したところである。 監事による監査では、「事業報告は、法令及び定款に従い正しく行っており、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認める」との報告を受けており、経営内容は、年間で６００万円を上回る強化し運営の便益事業収入総額を運営経費に充当するなど堅実かつ計画的で健全な状態にある。	A

■「評価結果」の評価基準

S（優　良）　協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
A（良　好）　協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
B（課題含）　協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
C（要改善）　協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。